

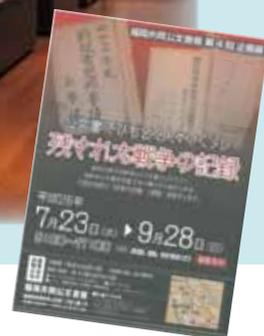
# 福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.05

平成26年12月

December 2014



## TOPICS / 第4回企画展 「公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～」・2～3ページ

- 講演会『「物言わぬ語り部」～映像が語る あの戦争～』、福岡県戦時資料展・・・4ページ
- お知らせ掲示板（展示、講座・講演会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5ページ
- インターンシップを終えて（平成26年度夏季研修生感想文）・・・・・・・・・・・・6ページ
- 活動報告／選別会議実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7ページ

# 公文書でひもとく人々のくらし 〜残された戦争の記録〜

## ■公文書に残る戦争の記録とは

7月23日〜9月28日の期間で開催した第4回企画展では、日中戦争、太平洋戦争の前後に作成された公文書の中から、戦争に関わる記録を集めて展示しました。一見、戦争とは無関係と思われる公文書でも、中を開いてみると、戦争につながる記録が点々と残っています。「徴兵」「徴発」「供出」「防空演習」「配給」「慰問」「村葬」「戦災」…。これらは、戦場から遠く離れた地方の市町村も、戦争に直面していたことを示す記録です。

「公文書を手がかりにして、戦争中の県や市町村が担った役割を知り、それが当時の人々の生活にどのような影響を与えたのかを改めて考えてみよう」というのがこの企画展の趣旨でした。開催中は、多くの方々にご来場いただきました。

次に、展示した資料の一部をご紹介します。

## ■展示資料のご紹介

### 〔福岡県の告諭〕 昭和12年度 福岡県

昭和12年7月に起った盧溝橋事件が引き金となり、日本と中国は戦争状態に突入しました。これを受けて、福岡県は県民に向けて「告諭」という文書を発しています。

文書は、北支事変（日中戦争）の勃発を県民に知らせ、戦時体制における心構えを呼びかけるもので、前半の「告諭」と後半の「非常時局に処する心得」から成っています。

「告諭」は、戦前の行政文書らしく漢文訓読体の文章で、北支事変に至った事件の経緯、政府の動向等が記されています。これに対し「非常時局に処する心得」は、県民がとるべき望ましい態度を十一條から成る箇条書きで示したもので、文章は口語体、すべての漢字にルビが振られています。

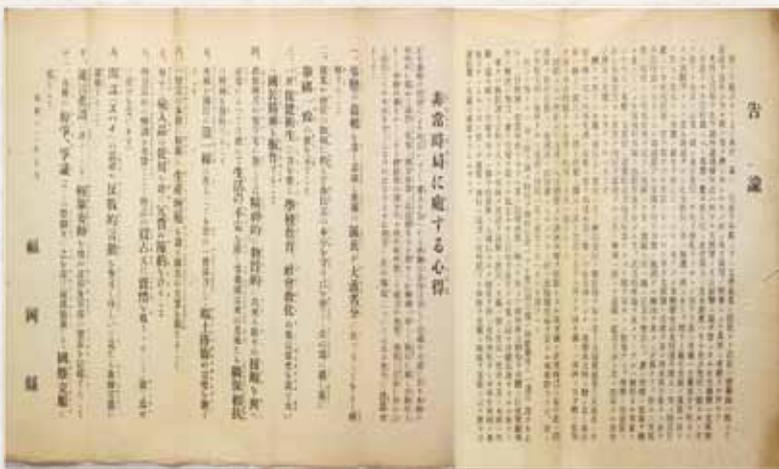
二、**職業や地位の如何に拘らず、各自其の本分を守り、己を捨て、公の為に尽し、**

真に**挙国一致の実を示すこと**

（\*旧字体の漢字は新字に改め、句点を付した）

このように、単なる漢字の読みではなく、

語句の意味を分かりやすく示したルビが付され、子供から大人まで、すべての県民にその内容が理解できるように工夫を施しています。この文書は、旧・玉川村役場（現・大牟田市）の庶務事蹟の中に挟みこまれていたものです。大判の紙型、強調文字が並ぶその体裁から、福岡県が、各市町村役場を通じ、揭示や回覧等で、この非常事態を県民全体に伝えようとしたことがわかります。



告諭・非常時局に処する心得

### 〔配給米の節米献納書〕 昭和18年度 飯塚市

日中戦争から太平洋戦争へ、戦争が長期化していくにつれ、国民の負担も大きくなっていきました。昭和13年に国家総動員法、昭和18年には国民徴用令が公布され、国民は、生活や物資から労働と、あらゆる形で戦争へと動員されました。また、国内の食糧事情は悪化の一途を辿り、昭和16年には、主食の米が配給制となりました。一日の配給量は一般成年男子で2合3勺（約350グラム）。当時の一般成人の米の消費量は平均一日3〜3.5合とされており、配給米は到底十分な量とはいえませんでした。国民は、空き地に野菜などを作り、主食の不足を補いました。

「配給米ノ節米献納書」は昭和18年9月、一人の飯塚市民が市長宛に出した文書です。「節米して貯めた米を、市長を通じて軍へ献納したい」という内容です。この人物とその家族は、空き地で作った野菜を常食として米の節約につとめ、8か月間で5斗（約75kg）を貯めました。「長男は海軍、二男は陸軍に於て奮戦中」で、「多くの兵隊さんの御苦勞に御答え」するために米を差し上げたいという趣旨を記したこの文書からは、銃後の護りを担って奮闘する国民の姿と同時に、戦場に

送り出した我が子を思う親心がうかがえます。

### 〔百道松風園概況書〕 昭和24年度 福岡県

福岡県立百道松風園は、現在の福岡市早良区百道にあつた児童養護施設です。平成15年3月に廃園となつた後、松風園が所持していた写真や職員日誌等の資料は福岡県立図書館へ寄贈されました。この中には歴史公文書も含まれており、当館がこの資料群を引き継ぐことになりました。

松風園の沿革を知る上で参考になるのが、松風園の「概況書」です。これは、昭和24年5月21日、昭和天皇が松風園に視察に来られた際、園の沿革や状況を説明するために作成された奏上原稿です。

この「概況書」によると、松風園の起源は、昭和21年7月、恩賜財団同胞援護会が福岡県の委託事業として、海外引揚孤児を收容保護したことに始まります。收容した孤児たちの約9割が縁故先に引き取られた同年12月、当時街に激増していた浮浪児や戦災孤児たちを收容保護する施設として、「百道松風園」は発足しました。昭和22年2月に福岡県が経営を引継ぎ、23年4月から児童福祉法に

よる養護施設となりました。

昭和天皇が行幸した昭和24年5月の段階で、保護者を失つた児童、被虐待児童、浮浪児等、3才から18才までの男女116名が在園していました。園では、職員が子供たちと寝食を共にし、生活指導、健康管理、学校教育、職業訓練を行い、終戦後の過酷な社会環境の下で、身体や心に傷を受けた子供たちの健康の回復と、自立心の育成、明るく規律ある生活環境の確保に努めました。



昭和23年頃の百道松風園



概況書

■講演会を開催しました

## 「物言わぬ語り部」 映像が語る あの戦争



8月23日、第4回企画展と関連した講演会を開催しました。

大分県宇佐市の市民団体「豊の国宇佐市塾」の藤原耕氏を講師に、米軍機搭載のカメラが上空から撮影した、筑紫野市（西鉄筑紫駅）、大牟田市等の空襲映像を上映

し、その解説と映像発見に至るまでの活動をお話いただきました。

音の無い映像や藤原先生が語る想いには心に響くものがあり、改めて平和の大切さや戦争の悲惨さを、感じ考える“機会となりました。

講演会には72名の参加者、そして複数の報道機関にもお越しいただき、非常に多くの方が来場されました。

皆様、ありがとうございました。



### ■福岡県戦時資料展が開催されました

8月12日～31日には、福岡県が主催する戦時資料展が当館で開催されました。

戦時資料展は、平成元年度から毎年、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えている

くことを目的として、県内各地で開催されています。

福岡県が、昭和63年度から収集している太平洋戦争前後の戦時資料等（焼夷弾、防空頭巾、鉄かぶと、千人針、日の丸寄せ書き、写真パネル、体験談等）が展示されました。夏休み期間中でもあったため、小学生がご両親や祖父母と一緒に観覧する姿も目立ち、700名を超える来場がありました。

また、戦時資料展の終了後も、福岡県の協力により、資料の一部を展示室の中に残していただき、9月28日の第4回企画展が終了する日まで、併せてお楽しみいただくことができました。



# お知らせ掲示板

## 展 示

### 常設展

開催中 ～ 平成27年2月8日(日)(予定)

公文書にみる福岡140年のあゆみ ～福岡県の誕生と市町村合併～

### 第5回企画展

平成27年2月17日(火)～3月29日(日)

公文書でひもとく人々の暮らし ～残された災害の記録～(仮)



## 講座・講演会

受講料は **無料** です。お気軽にお申込みください。

### 公開講座 公文書館講座

- 講 師／当館副館長 佐藤 史文
- と き／平成27年1月24日(土)  
午後 2時から3時30分まで  
(受付:午後1時30分から)
- ところ／当館2階 研修室
- 定 員／20名

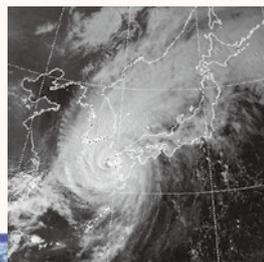
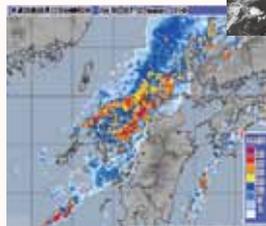
前回開催の様子  
(H26.2.19)



### 講演会 ～ 第5回企画展に併せて ～

## 防災気象情報とその利用

- 講 師／福岡管区气象台
- と き／平成27年2月21日(土)  
午後 2時から3時30分まで  
(受付:午後1時30分から)
- ところ／当館2階 研修室
- 定 員／80名



## 申 込 方 法

- 電話、FAX、電子メール、郵送、又は直接公文書館までお越しください。
- FAX、電子メール、郵送で申込みの場合は、右記の必要事項を記載の上、ご提出ください。

### < 必要事項 >

- ① 講座名又は講演会名
- ② 参加者の名前(ふりがな)
- ③ 住所(都道府県、市町村まで)
- ④ 電話番号(あればFAX)

# インターンシップを終えて…

## INTERNSHIP

平成26年8月22～28日、

インターンシップ研修を実施しました。

その時に感じたことや学んだことを

研修生に綴っていただきました。

私は夏休みのインターンシップ先として、福岡共同公文書館を選びました。なぜこの仕事に興味を持ったかという点、もともと日本史に興味があり大学でも学芸員の課程を受講していたため、そこで学んだスキルを生かせるのではないかと思ったからです。今まで社会人の方々と接する経験があまりなく、また初めてのインターンシップということもあり初日は大変緊張をしていました。公文書館の職員の方々は優しく声をかけてくださったり、また忙しい中でも気にかけて指示を出してくださったりと大変お世話になりました。

公文書館の仕事と一言でいっても文書の選別・保存といった作業や、一般の方から利用申請があった場合における内容の確認や準備、施設見学・展示・講演会といったPR活動など様々な業務があります。研修中は多くの活動を体験させていただきました。

たが、なかでも印象に残っていることは期間中に行われた講演会「「物言わぬ語り部」～映像が語る あの花争～」の準備や補助を行ったことです。今まで学校の講演会などに参加することはあっても開催する側に立ったことは無かったのでとても新鮮に感じました。そしてこのようなイベントを開催する際にはどのような段取りで準備を行う必要があるのか等多くの発見があり、今後の参考になりました。

今回のインターンシップを通して、私は多くのことを学びました。今まで自分がもうすぐ社会人となる実感があまり無く、仕事をするとということについてもぼんやりとしたイメージしか持っていませんでした。5日間という短い期間ではありましたが、今回の研修を通して社会人の皆さんが働く様子を間近で見て、そのイメージを掴めたように感じます。また、自分に何が足りないのかを考える機会を得ることができました。忙しい中時間を割いてくださり、本当にありがとうございました。何かと迷惑をおかけしてしまいましたが、この経験をしっかりと次に生かしていきたいと思えます。

(西南学院大学 下川 愛里)

### 研修期間中の様子



# 活 動 報 告

## 平成26年

3月13日	小城市歴史資料館古文書講座現地研修【施設見学(21名)】 ●
3月14日	糸田町【施設見学(1名)】
3月14日	運営専門協議会
3月16日	九州大学附属図書館【施設見学(2名)】
4月4日	福岡県総務部行政経営企画課【施設見学(2名)】
4月9日	部落解放同盟筑紫地区協議会【施設見学(6名)】
5月7日	運営会議
5月15日	下関市土井ヶ浜遺跡・人類ミュージアム【施設見学(4名)】
5月22日	市町村文書事務担当者会議 ●
6月5日	福岡県警察本部【施設見学(2名)】
6月13日	鹿児島市総務局総務部総務課【施設見学(3名)】
6月14日	熊本県総務部総務私学局県政情報文書課【施設見学(1名)】
6月26日	福岡県市町村職員研修所【施設見学(1名)】
6月27日	久留米市子ども育成課【施設見学(3名)】
7月3日	福岡県総務部人事課【施設見学(3名)】
7月17日	運営専門協議会
7月23日	第4回企画展 公文書でひもとく人々の暮らし ～残された戦争の記録～ 開催(～9/28(日))
7月23日	第4回企画展の取材(ケーブルステーション福岡)
7月23日	第4回企画展の放送(ケーブルステーション福岡「QテレTIME」)
7月24日	第4回企画展の放送(ケーブルステーション福岡「QテレTIME」)
7月24日	福津市総務課【施設見学(2名)】
7月24日	第4回企画展の記事掲載(読売新聞(朝刊))
7月26日	豊の国宇佐市塾【施設見学(1名)】
8月8日	(株)佐藤総合計画【施設見学(6名)】
8月12日	第4回企画展の放送(NHK「NEWS WEB」)
8月12日	福岡県戦時資料展(～8/31(日))
8月14日	第4回企画展の取材(西日本新聞)
8月15日	第4回企画展の放送(KBC「ふくおか暮らしに+ (プラス)」)
8月20日	第4回企画展の記事掲載(西日本新聞(朝刊))
8月21日	高知県議会事務局【施設見学(1名)】
8月22日	福岡県企画・地域振興部市町村支援課【視察研修(13名)】
8月22日	インターシップ研修(～8/28(木))
8月23日	講演会「物言わぬ語り部」～映像が語るあの戦争～ (講師:藤原 耕 氏(豊の国宇佐市塾))
8月23日	講演会の取材(ケーブルステーション福岡、NHK大分放送局)
8月23日	講演会の放送(ケーブルステーション福岡「QテレTIME」)
8月24日	講演会の放送(ケーブルステーション福岡「QテレTIME」)
8月28日	山口ちよっといい会【施設見学(36名)】 ●
9月2日	東京都江東区政策経営部企画課【施設見学(3名)】
9月5日	秋季七道府県労務担当者会議【施設見学(15名)】
9月11日	講演会の放送(NHK大分放送局「しんけんワイド大分」)
10月1日	福岡教育事務所管内教育長研修会【施設見学(30人)】 ●
10月7日	講演会の放送(NHKニュース「おはよう日本」)



▲小城市歴史資料館古文書講座  
現地研修



▲市町村文書事務担当者会議  
市町村との更なる連携を図るため、  
担当者を対象とした会議を初めて  
開催しました。



▲山口ちよっといい会



▲福岡教育事務所管内教育長研修会

## 選別会議実施状況

選別会議・・・自治体から1次選別を経て搬入された公文書を評価選別基準により2次選別を行います。  
2次選別により、当館へ移管しないこととなった公文書については、原則として、搬入元の自治体に返却します。

平成25年度	福津市	宮若市	遠賀町	筑前町	吉富町
	宇美町	糸島市	大刀洗町	宗像市	柳川市
	川崎町	岡垣町	大木町	那珂川町	荻田町
	八女市	香春町			

平成26年度	赤村	大任町	糸田町	嘉麻市	豊前市
	朝倉市	柳川市	大牟田市	八女市	春日市
	大野城市	那珂川町	大刀洗町	筑後市	中間市
	小竹町	飯塚市			

▲平成26年3月から10月までの分

# 施設案内

## 施設使用料金

施設の使用ができます

	収容人数	面積	金額 (1時間につき)
会議室	16名	58㎡	390円
研修室	90名	171㎡	1,150円

※消費税率の変更に伴い、平成26年4月より使用料金を改定しております。

(旧料金 会議室:380円、研修室:1,130円)

※マイクやプロジェクター等を使用する場合は、別途料金がかかります。使用をご希望の方は当館までお問い合わせください。

## 複写サービス

複写もできます

白黒	1枚	10円
カラー	1枚	30円
マイクロフィルムからの印刷	1枚	10円

※ただし、特定歴史公文書については、福岡県立公文書館条例及び福岡県市町村公文書館条例により、個人情報などが記載された箇所は複写できないことがあります。

## 利用上の注意

閲覧室に入室の際は、貴重品以外の物はロッカーにお入れください。  
(使用後は100円返金されます。)

## このような時は ご相談ください

- ・お住まいの地域で行政が関わった歴史を知りたい。
- ・調べたい内容の資料が当館へ移管されたか知りたい。
- ・展示物や閲覧室にある資料を撮影したい。

その他についても、お気軽にお問い合わせください。



会議室



研修室



閲覧室



展示室

## 交通アクセス

- JR二日市駅より徒歩13分または西鉄バス警察署前バス停より徒歩約1分
- 西鉄二日市駅より下車、西鉄バス警察署前バス停より徒歩約1分
- 九州自動車道「筑紫野インター」より車で5分

## 福岡共同公文書館

〒818-0041

福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号

お問い合わせ：092-919-6166

Mail：kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp

ホームページ：http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。